

# ▲▲▲ 丹沢 源次郎沢遡行 ▲▲▲

(報告) J.F

◎山行期日：2019年8月11日

◎メンバー：M.K (L)、T.F (幹事)、J.F

暑い日が続いていた中、山の日にてT.Fさんより沢登りに誘って頂いた。丹沢は過去何回も行った山域だが沢登りは今回が初めて。且つロープを使う外岩も初めてだが、経験豊富なベテランお二人がいるので、色々教えてもらおうという意気込みで現地に向かった。

源次郎沢は、初級沢だがクライミングとロープワークが出来ないといけない場所とのこと。滝がF1～F10まであって、遭難対策の為に各々看板がある。

戸沢バンガローまで車で入り、遡行準備を開始。天気は快晴で沢登りにピッタリだ。書策新道を少し歩いて、入渓する。沢の水の水温が丁度良い冷たさで、涼しく非常に快適だ。真夏の沢登り最高デス！！

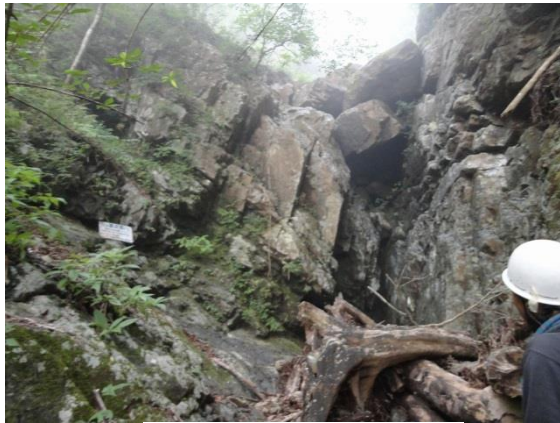
程なくF1の看板がある滝に到着。資料によると高さ4m。ロープを使ってM.Kさんがリード、筆者、T.Fさんの順で登るときに、筆者がロープワークの方法を全くイメージしておらず、その場で教えてもらいながら何とかクリア。滝の水の音で、会話が難しく身振り手振りで苦勞した。お二人には、手間を取らせてしまったが、やってみて分かった。

先頭に行くM.Kさんは滝の脇を登攀する際も、スイスイ登っていく。ボケーッとせず足場や登り方を参考にしよう自分に言い聞かせる。源次郎沢で一番高低差があるF5の3段12m、F6大岩をクリア。次のF7から水が枯れてきた。この辺りから、雲が厚くなってきて日が陰り、しまいにはパラパラと雨が降り出す。T.Fさんの「どうせ沢の水で濡れているし雨降っても平気だろ」というノリが良かったのか、通り雨で最終的には天気心配はなくなった。



F5を登るM.Kさん

水流がなくなると、シンプルな岩登りだ。F8～F10と外岩の感触を味わうことができ面白かった。ただ、F10は中間支点のカラビナとスリングを回収するのに手間取り、少々焦った。F10から少し進むと、わらじが吊してあり、遡行終了地点の目印になっていた。何とか登りきることができ、一安心。



F10 (右壁を登る)



T.Fさん(左)、M.Kさん(右)

さて、ここからは大倉尾根稜線に出るために樹林帯の急登を登っていく。踏み跡が多少あって道が分かりやすいのは良いが、急に蒸し暑くなり、沢の清涼感はどこへ……。急斜面で細かい石があり崩れやすいため、気が抜けない。昼食休憩をとり、気を取り直して登ると花立山荘より下った草原に出て登山道があった。天気は回復し、遠く相模湾が見える。いつもの丹沢大倉尾根からの景色だ。

登攀道具をリュックに収めて、下山開始。天神尾根をひたすら下り、出発点の戸沢バンガローに無事到着。その後、日帰り温泉の湯花楽に立ち寄り、汗を流す。渋沢駅で解散となった。

シリウスに入らなければ、恐らく沢登りをすることはなかったと思うが、登山の幅が広がった実感を得ることができ充実した1日だった。同行させてもらったお二人に感謝。

#### <<参考コースタイム>>

戸沢バンガロー前発 8:50

F4 滝下 9:55

F5 滝下 10:25

F6 滝上 11:30

F7 滝上 12:00

F9 滝上 12:35

F10 滝下 12:45

F10 滝上 13:20

源次郎沢 終了点 13:50

大倉尾根上着 14:20

天神尾根入口(下山) 15:30

戸沢バンガロー前着 15:45

(了)